

県立愛川高等学校 平成 28 年度 第 1 回学校運営協議会 記録

日時 平成 28 年 7 月 26 日 (火) 15:00~17:00

場所 県立愛川高等学校 校長室

出席者 委員

石田裕昭 神奈川工科大学入試広報課 担当部長

佐野昌美 愛川町教育委員会 指導室長兼教育開発センター所長

加藤一男 愛川町三増区長

篠崎ひとみ 愛川高校 PTA 会長

大沢利郎 愛川高校校長

事務局

尾本一則 愛川高校副校長

中西正文 愛川高校教頭

坂本とし子 愛川高校事務長

小山 隆 愛川高校総括教諭

- 設置趣旨説明 副校長
- 委嘱状交付
- 公開についての確認 傍聴者なし

次第

- 1 校長挨拶
- 2 協議

議事 1 役員選任

協議会長選任 石田裕昭氏

副会長選任 佐野昌美氏

- ・役員について承認された。

議事 2 愛川高校の学校経営計画について

- ・愛川高校グランドデザイン
- ・平成 28 年度~31 年度 愛川高校学校経営計画
- ・平成 28 年度 愛川高校学校経営計画

○ 校長より概略説明

- ・ねらい、特色、目指す姿
- ・自己肯定感、コミュニケーション能力の育成
- ・連携型中高一貫教育高としての特色

○ 意見

- ・(石田) 卒業率、部活動加入率、遅刻数などで改善の様子が見られる。全県の部活動加入率はどうか。
- ・(校長) 全県では 6 割超であり、本校は下回っている。
- ・(佐野) 「日本で一番生徒を成長させる学校」というスローガンに感銘を受けた。

さまざまな試みを評価したい。

町では小中一貫教育の取り組みを本年度から始めた。単発の連携から継続的取り組みへ模索中である。

中高連携をさらに進めてほしい。また、町の小中高連携を進めたい。

- ・(校長) 大学との連携も図れる。都市型中高一貫を目指している。
- ・(加藤) 今風のものを入れないと生徒はついていけないのでは。伝統文化教育は工夫が必要だろう。
- ・(加藤) 通学路の拡幅など、環境整備が必要などところがある。
- ・(篠崎) (連携の人材交流で) 中学で愛川高校の先生に教わり、継続して教わったことで安心感があつた。不安感が和らいだ。

退学者が減り、進学率が上がってきていることを評価したい。

今後もよい流れを作っていきたい。

- ・(校長) 指導が浸透するまでは時間がかかる。粘り強く進めたい。
- ・ 学校経営計画について承認された。

議事3 愛川高校学校運営協議会 部会の設置について

- ・ 学校評価部会 年2回実施 (9月、3月)
- ・ 学校連携部会 年2回実施 (5月～6月、3月)
- ・ 地域連携部会

○ 校長より概略説明

- ・ 学校評価部会は必置とされている。従来の学校評議員会に相当する。区長、P T A会長のほか、同窓会長や元P T A会長などの参加を想定している。
- ・ 学校連携部会は既存の会議の発展という形で考えている。
- ・ 地域連携部会では生徒の地域における活躍の支援、ボランティア活動の支援や、外国籍児童への高校での支援などの取り組みも進めたい。本校は「地域創生の核となる学校づくりのモデル校」の指定を受けており、外部コーディネータの活用も考えていきたい。
- ・ 地域連携では、たとえば加藤様には地域清掃や地域の祭礼の手伝い、地域防災のことでご協力をお願いする場面も出てくる。
- ・ 協議会の委員にはいずれかの部会に入っていただくことが望ましい。

(意見)

- ・ (佐野) 町は放課後学習「あすなる教室」のボランティア活動を推進している。外国籍児童への支援＝土曜寺子屋(どてら)などでの高校の生徒に活躍してもらう場の検討を進めたい。人材活用を考えたい。
- ・ (加藤) 地域防災のイメージがまだわからない。学校が拠点となつてできる活動のありかたなどを考えたい。
- ・ 部会設置について承認された。

3 次回会合等の確認

- ・ 評価部会を今年度は9月から10月に開催したい。